

区政を聞く代表質問(要旨)

自由民主党議員団

持続可能な財政運営と時代に合った
適時適切な施策の推進を
平成30年度当初予算案及び今後の財
政運営

問 平成30年度予算編成に当たり区長はどのような姿勢で予算配分に取り組んだのか、予算の特徴について伺う。
答 子育て支援、地域包括ケアシステム、観光振興、花いっぱい運動の推進、地域産業の活性化などの事業に重点的に配分することで、多くの区民が住みやすい、住んでいて良かったと思えるまちづくりを進めたいと、予算配分に向けた予算編成ができたこと、今後の取組について伺う。
問 平成30年度の都税収は増収を見込んでいるが、31年度には法人住民税の一部国税化のさらなる拡大が見込まれている。このような国の動向に対して、歳入への影響をどのように捉え、取り組んでいくのか。
答 財政収支に与える影響は、より一層厳しくなると考えられる。そのため、国・都補助制度の積極的な活用などの取組はもとより、計画的な基金積み立てや区債発行抑制等の財政対応能力の強化など、財政基盤のさらなる強化を図っていく。

自由民主党議員団

中長期的な視点に立った今後の区政
運営の取組

問 いわゆる団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据えて進めている地域包括ケアシステムは、どのような地域社会を構築していきたいのか、ビジョンを示していただく。
答 介護や医療が必要とせず自立した豊かな生活を続けられるよう、また、介護や医療が必要な状況になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられることができる地域社会づくりを考える。その際、区・地域団体・事業者等との協働が促進され、オール葛飾で地域の高齢者を支えていく。
問 高齢者の進捗など、今後の社会状況の変化を見据え、本区の公共交通のあるべき姿を示していただくこと、区長の見解を伺う。
答 現在取り組んでいる公共交通網の構築に関する調査検討において、公共交通の意義や各主体の役割分担などを明確化するとともに、おむね10年後のあるべき姿を示し、実現のための方策を明らかにしていく。
問 都市計画道路整備などの進捗を踏まえた本区のパス路線網の充実に向け、今後の取組を伺う。
答 現在事業を進めている都市計画道路補助線は、水元地区から細田地区に至る線の東部を南北に縦断する主要な道路であり、新宿・高砂周辺の交通環境が大きく改善し、不足する南北交通を補うことが可能になる。こうした事業の進捗状況に合わせ、新規バス路線の開設や既存路線の姿変更など、協働し取り組んでいく。
問 葛飾区観光経済実態調査の結果を踏まえ、今後の観光施策をどのように進めていくかについて伺う。
答 調査では「歴史・文化」が本区の魅力として挙げられた。この結果を踏まえ、訪日外国人をはじめ、国内の観光客を誘致するため、本区の魅力をより効果的な方法で情報発信していくこと、マップの作成、スマートフォンでの実施など、区内周遊に繋げる取り組みを行っていく。
問 平成30年度当初予算案について、具体的な戦略を掲げて、スポーツ・文化の発信、外国人観光客対策に取り組むべきと考えるがどうか。
答 大会を契機に、葛飾46万区民皆スポーツを目標し、すべての区民がスポーツ活動に参画できる機会の創出や区民の健康・体力づくり、障害者スポーツ等において戦略を策定する必要があると考える。また、伝統産業や柴や重要な文化的景観等、区の強みを生かした魅力の発信やおもてなし対策、治安の強化等についても戦略として掲げていく。



区内を走行するバス

今後の取組を伺う。

問 今後の取組を伺う。
答 現在取り組んでいる都市計画道路補助線は、水元地区から細田地区に至る線の東部を南北に縦断する主要な道路であり、新宿・高砂周辺の交通環境が大きく改善し、不足する南北交通を補うことが可能になる。こうした事業の進捗状況に合わせ、新規バス路線の開設や既存路線の姿変更など、協働し取り組んでいく。
問 葛飾区観光経済実態調査の結果を踏まえ、今後の観光施策をどのように進めていくかについて伺う。
答 調査では「歴史・文化」が本区の魅力として挙げられた。この結果を踏まえ、訪日外国人をはじめ、国内の観光客を誘致するため、本区の魅力をより効果的な方法で情報発信していくこと、マップの作成、スマートフォンでの実施など、区内周遊に繋げる取り組みを行っていく。
問 平成30年度当初予算案について、具体的な戦略を掲げて、スポーツ・文化の発信、外国人観光客対策に取り組むべきと考えるがどうか。
答 大会を契機に、葛飾46万区民皆スポーツを目標し、すべての区民がスポーツ活動に参画できる機会の創出や区民の健康・体力づくり、障害者スポーツ等において戦略を策定する必要があると考える。また、伝統産業や柴や重要な文化的景観等、区の強みを生かした魅力の発信やおもてなし対策、治安の強化等についても戦略として掲げていく。

日本共産党葛飾区議会議員団

格差が拡大し、貧困が蔓延
国保料など、区民負担の軽減を
来年度予算案

問 貧困と格差が拡大し、国民全体が貧困化している。区長は、この実態をどう認識しているか伺う。
答 低所得者層に対する支援策として、国民健康保険料、介護保険料の上昇抑制やひとり親家庭への支援、生活困窮者自立支援など、区民生活の状況を踏まえた施策に取り組んでいる。今後とも社会経済状況及び区民の生活状況を勘案した施策を推進する。

問 貧困と格差が拡大し、国民全体が貧困化している。区長は、この実態をどう認識しているか伺う。
答 低所得者層に対する支援策として、国民健康保険料、介護保険料の上昇抑制やひとり親家庭への支援、生活困窮者自立支援など、区民生活の状況を踏まえた施策に取り組んでいる。今後とも社会経済状況及び区民の生活状況を勘案した施策を推進する。

問 貧困と格差が拡大し、国民全体が貧困化している。区長は、この実態をどう認識しているか伺う。
答 低所得者層に対する支援策として、国民健康保険料、介護保険料の上昇抑制やひとり親家庭への支援、生活困窮者自立支援など、区民生活の状況を踏まえた施策に取り組んでいる。今後とも社会経済状況及び区民の生活状況を勘案した施策を推進する。

問 貧困と格差が拡大し、国民全体が貧困化している。区長は、この実態をどう認識しているか伺う。
答 低所得者層に対する支援策として、国民健康保険料、介護保険料の上昇抑制やひとり親家庭への支援、生活困窮者自立支援など、区民生活の状況を踏まえた施策に取り組んでいる。今後とも社会経済状況及び区民の生活状況を勘案した施策を推進する。

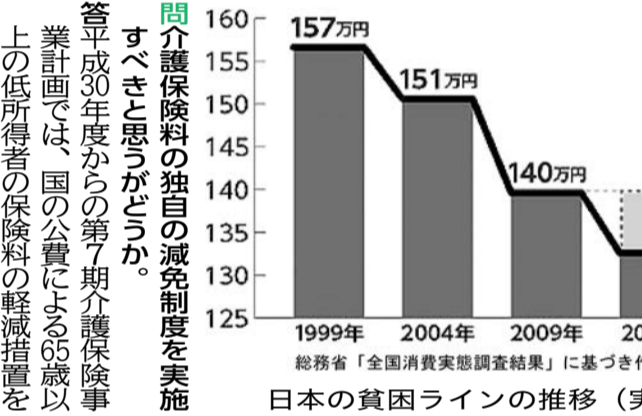
葛飾区環境政策



水元小合溜のヒシの刈り取り

問 本区の生物多様性にとり重要な水元公園周辺の環境保全のため関係機関

問 本区の生物多様性にとり重要な水元公園周辺の環境保全のため関係機関
答 本区は、水元公園周辺の環境保全のため、関係機関と連携して、水元公園周辺の環境保全に取り組んでいる。今後とも、生物多様性の保全に取り組んでいく。



問 貧困と格差が拡大し、国民全体が貧困化している。区長は、この実態をどう認識しているか伺う。
答 低所得者層に対する支援策として、国民健康保険料、介護保険料の上昇抑制やひとり親家庭への支援、生活困窮者自立支援など、区民生活の状況を踏まえた施策に取り組んでいる。今後とも社会経済状況及び区民の生活状況を勘案した施策を推進する。

問 貧困と格差が拡大し、国民全体が貧困化している。区長は、この実態をどう認識しているか伺う。
答 低所得者層に対する支援策として、国民健康保険料、介護保険料の上昇抑制やひとり親家庭への支援、生活困窮者自立支援など、区民生活の状況を踏まえた施策に取り組んでいる。今後とも社会経済状況及び区民の生活状況を勘案した施策を推進する。



区が庁舎移転の最優先候補地に選定した立石駅北口地区(準備組合作成)

区政を聞く一般質問(要旨)

自由民主党議員団

健康寿命の延伸対策

問 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。
答 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。
問 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。
答 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。

自由民主党議員団

健康寿命の延伸対策

問 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。
答 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。
問 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。
答 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。

自由民主党議員団

健康寿命の延伸対策

問 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。
答 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。
問 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。
答 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。

自由民主党議員団

健康寿命の延伸対策

問 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。
答 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。
問 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。
答 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。

自由民主党議員団

健康寿命の延伸対策

問 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。
答 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。
問 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。
答 特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。

問 2020年に向けて、移行期間となることから2年間、英語教育をどのような計画で進めていくのか伺う。
答 文部科学省が示した年間指導計画例



まちかど健康相談

問 2020年に向けて、移行期間となることから2年間、英語教育をどのような計画で進めていくのか伺う。
答 文部科学省が示した年間指導計画例

問 2020年に向けて、移行期間となることから2年間、英語教育をどのような計画で進めていくのか伺う。
答 文部科学省が示した年間指導計画例

問 2020年に向けて、移行期間となることから2年間、英語教育をどのような計画で進めていくのか伺う。
答 文部科学省が示した年間指導計画例

問 2020年に向けて、移行期間となることから2年間、英語教育をどのような計画で進めていくのか伺う。
答 文部科学省が示した年間指導計画例

ちづくりICT技術を活用する。ICTを活用した安全・安心な街づくり(イメージ)

を設け、普及と周知を図るべきと思
うが区の考えを伺う。
答しブックをより多くの方々に知っ
てもらうために有効な方法なので、
まずは中央図書館へ設置する。



東四つ木コミュニティ通り

※他の質問項目 アプリの活用 など
他の質問項目 新生児聴覚検査の費
用助成、国保減額調整措置の見直し、
立石駅周辺地区のまちづくり

すべての人にとっての
やさしいまちづくりを

区民への情報提供のあり方

異なる年齢層や多様な生活スタイル
の区民などへの区政情報の提供の姿
勢を伺う。また、区政情報を確実に
届けるためには何が重要と考えるか。
答区民との信頼関係を築く広報を目
指すため、区民が求める適切な情報
を適切な形態で提供する必要がある。
広報かつしかやフェイスブックなど
多様な広報媒体を使い効果的な情報
提供に努めている。また、区政情報
を確実に区民に届けるためには区政
への関心を高めることが重要であり、
情報提供の手段や内容を工夫しなが
ら、広報の充実に取り組んでいく。
※他の質問項目 高齢者に必要な情報
を届ける定期情報誌の発行 など

人にやさしいまちづくりとお花茶屋
駅の利用改善

問南側駅舎階段の「けあげ」段差や踏
み面の奥行き狭さ解消について交

通事業者へのさらなる働きかけが必
要と思うがどうか。



お花茶屋駅付近

答京成電鉄に申し入れているが、当面
の対応として、注意喚起のための階
段の黄色塗装を年度内に塗り直すの
の回答を受けている。今後も、誰も
が移動しやすい環境の整備に向けて
機会を捉えて引き続き京成電鉄に申
し入れていく。
※他の質問項目 バリアフリー事業の
成果 など

学童の見守りと登下校通知メール配
信システム

問登下校を通知するメール配信システ
ムを区内全49の小学校に導入すべし
と考えるがどうか。

答現在4小学校で試験導入している。
学年が進むにつれ加入者が減り、4
割程度の活用状況である。引き続き
活用状況を検証し、導入について研
究する。

※他の質問項目 災害時における学校
と家庭との連絡手段 など

日本共産党葛飾区議会議員団

在宅死4割、寄り添う介護を
児童館廃止やめ、子育て支援充実を

介護

問在宅死のうち、約4割が事故死、自
殺、孤独死という現状の認識を伺う。
答自宅でのみとりのほかに事故死や自
殺などが含まれていると認識してい
る。75歳到達者個別訪問など高齢者
の見守り体制の充実を努める。

問特別養護老人ホームの居住費は区が
負担すべきと思うがどうか。
答低所得者への居住費等の補助につい
ては、既に補給給付があることから
区が負担することは考えていない。
※他の質問項目 介護職員の処遇改善
など

公共施設の今後のあり方

問小菅・高砂保健センター廃止の代替
措置をやめたり民間へ丸投げするな
ら、保健センターを復活すべきでは
ないか。
答今後とも保健サービスの向上に努め
ていくため、小菅・高砂保健センタ
ーを復活させることは考えていない。
問小菅保育園の仮園舎に児童館を移転
すべきと思うがどうか。

答今後とも保健サービスの向上に努め
ていくため、小菅・高砂保健センタ
ーを復活させることは考えていない。
問小菅保育園の仮園舎に児童館を移転
すべきと思うがどうか。



さまざまな取り組みが行われている児童館

答建て替え期間中は仮園舎で子育てひ
ろばや子育て相談などを継続し、運
動遊びでは出前児童館を検討する。
※他の質問項目 財源が措置されない
公共施設の複合化の意味 など

リノベーション事業

問営利企業が図書館業務を同時に担う
のは、公の施設として両立しないの
ではないか。
答図書サービスカウンター業務は、既
に本区の図書館でも民間業者に委託
しており、問題は無いと考える。

問亀有リリオ館7階リノベーション事
業と、その根拠となる基本協定は撤
回すべきと思うがどうか。
答子供たちと本を結び付ける事業を、
積極的に展開してきた本区に大切な

事業であり、撤回する考えはない。
※他の質問項目 今後のさらなる税金
投入の危険 など

かがやけ Katsushika・維新

子どもの発達障害は早期発見・
早期療育と周囲の理解が大切

5歳児健康診査事業

問本事業の実績と保育園などの連携
にどのような変化があったのか伺う。
答発達状況確認のアンケート提出率が
上昇し、成果が着実に出てきている。関
係機関の保護者への声掛けが話し合
いのきっかけとなり、両者が連携し
ながら発達障害に向き合い、対応し
ていく土壌ができてきている。
※他の質問項目 健診後のフォローや
保護者への対応 など

次期の基本計画に新金線旅客化を
入れ、実施計画を区民に示せ

まちづくり

問新金貨物線の旅客化を次期の基本計
画・実施計画に取り入れ、実施すべ
きと考えるが、区長の見解を伺う。



葛飾区基本計画と実施計画

答来年度旅客化に向けた需要予測など
を検討し、一定の方向性が出れば基
本計画などへの取り入れを検討する。
※他の質問項目 森永乳業東京工場
生産中止後の跡地利用 など

教育

問本区の生徒や親からの高いニーズは
進学のための学力向上と思うが、次
の教育振興基本計画での目標を伺う。

答進学について生徒が自らの生き方を
考え、主体的に進路を選択できるこ
とが大切である。次の計画でも全て
の子どもに確実な基礎学力を定着さ
せる学力向上策を位置付け取り組む。
※他の質問項目 教育長の目指す教育
を進めるための数値目標 など

公共施設

問公共施設の再編や所管などの見直し
について、区の見解を伺う。
答施設の利用や取り巻く環境の変化を
踏まえ必要と判断した場合には、施
設の再編や所管の見直しなどを行う。

無所属 (※5)

保育の充実に伴う人材確保と
公共交通の課題への適切な対応を
保育人材の確保



保育園での戸外遊び

問保育従事者の労働実態に合わせた支
援が必要と思うがどうか。
答延長保育にかかる経費について、実
施時間や利用者数に応じた補助を行
っている。引き続き保育士の負担軽
減を図りながら、やりがいを持つた
りよう支援をしていく。

※他の質問項目 補助金の適正使用

地域公共交通会議の開催

問地域公共交通会議の開催により、既
存の公共交通の課題解決や新たなニ
ーズの検討・議論がより効率的に行
えると思うが、区の見解を伺う。
答来年度には公共交通に対する地域の
ニーズなどを把握し課題解決が必要

な地域を抽出したいと考えている。
今後、その課題解決を検討する際、
必要に応じ同会議の開催を検討する。
※他の質問項目 過去の会議開催経緯
他の質問項目 リリオ亀有リノベ
ーション絵本劇場の官民連携

無所属 (※6)

障害者差別解消法による
平等社会の実現と意識改革を

障害者差別解消法

問差別解消に向けた障害者差別解消支
援地域協議会の取り組みを伺う。



障害者差別解消法ポスター

問周知のためのパンフレットや啓発チ
ラシの配布のほか、同協議会で差別
の実態把握や相談体制整備を進める。
※他の質問項目 区職員への研修の成
果 など

災害時における要配慮者対策

問本区の地域防災計画に定められた要
配慮者施設の取り組み状況を伺う。
答災害時避難確保計画を作成しておら
ず、区の働きかけが必要である。
※他の質問項目 避難確保計画の作成
などへの区の支援 など

障害者スポーツの現状及び今後の方
針

問現状及び今後の方針を伺う。
答スポーツ教室などを開催している。
今後も共生社会の構築を目指して、
スポーツに親しめるよう取り組む。